

令和4年度 第1回 釜石市立鶴住居公民館運営審議会開催結果

- 1 日 時 令和4年5月20日（金）午前10時から午前11時
- 2 場 所 釜石市立鶴住居公民館 多目的室
- 3 出席委員 6人
小山士委員長、三浦紘子副委員長、佐藤一成委員（代理平野智史副校長）、
佃拓生委員、瀬戸保子委員、山口未来委員
- 4 欠席委員 1人
澤本和子委員
- 5 事務局 5人
佐々木薫まちづくり課主幹、浦城太郎まちづくり課主任
松下隆一鶴住居公民館長、山崎佳歩保健師、村田奈々主査
- 6 傍聴者 なし
- 7 結 果
 - ・松下館長より審議会開会の宣言を前に、令和4年5月1日より運営審議委員になった委員を紹介し佐々木薫まちづくり課主幹より委嘱状交付式をした後、松下館長より審議会開会を宣言。
 - ・令和4年度釜石市立鶴住居公民館運営方針及び事業計画について、配布資料をもとに説明し、質疑応答の後、提案のとおり了承された。
 - ・松下館長より、コミュニティ支援員配置事業に伴う当館所属のコミュニティ支援員について、資料を配布し紹介した。
 - ・浦城まちづくり課主任より、令和4年度立正大学デリバリーカレッジについて、資料を配布し紹介した。

○委員の主な発言等（概要）

(1) 令和4年度釜石市立鶴住居公民館運営方針及び事業計画について

〔要望〕：箱崎地区は百歳体操以外、何も活動がない。高齢者が多く、他所のように勉強会もなく、どこにも出ることがなく、家に閉じこもっている状況。箱崎でも他所で健康教室をやっているように何か勉強会みたいなのをやって高齢者の方が元気に出てきてもらえるような事業を考えてほしい。できれば月一回。触れ合う時間があっても良いと思う。

〔回答〕：出張公民館がある。以前箱崎地区を対象に計画があったが台風、コロナで計画が流れてしまった。公民館でやっている事業を出来るよう考えている。箱崎地区を対象に健康教室を開催したいと思う。また、人集めをしてもらえれば、まちづくり課生涯学習係で出前講座を準備している。他部署と連携して講師派遣をする事が出来る。

〔質問〕：『地域の課題』とは具体的にどのようなものか。言える範囲で構わない。

〔回答〕：健康の問題。今職員皆で調べているが、鶴住居地区は歴代塩分摂取量が高い。他の地域と比べても高い。また市内全体で脳疾患が多い。体の健康に関して問題もあるし心の問題もある。

公民館事業は、参加年齢層が高い。公民館に来られない問題もある。子育て世代もいるが来られない方もいる。鶴住居地区の子供達の学習環境も考えないといけない。震災から10年が経ち周りの環境も変わってきているが、それに合った環境に子供達がいる事が出来ているかといえばそうではない。学校が主体であるが我々が学校と一緒にフォローをどうしていくか。あとは、見えない課題もある。住民からの情報を頼りにしている。そこから拾い上げていかないといけない。住民が有意義に過ごせるよう寄り添い、この街に住んで良かったと思えるようにしたい。

以上